

CITY OF YOKOHAMA

# 本市初！2年連続の待機児童ゼロ達成

～令和8年4月1日現在の保育所等利用待機児童数～

2026年4月23日  
市長定例記者会見

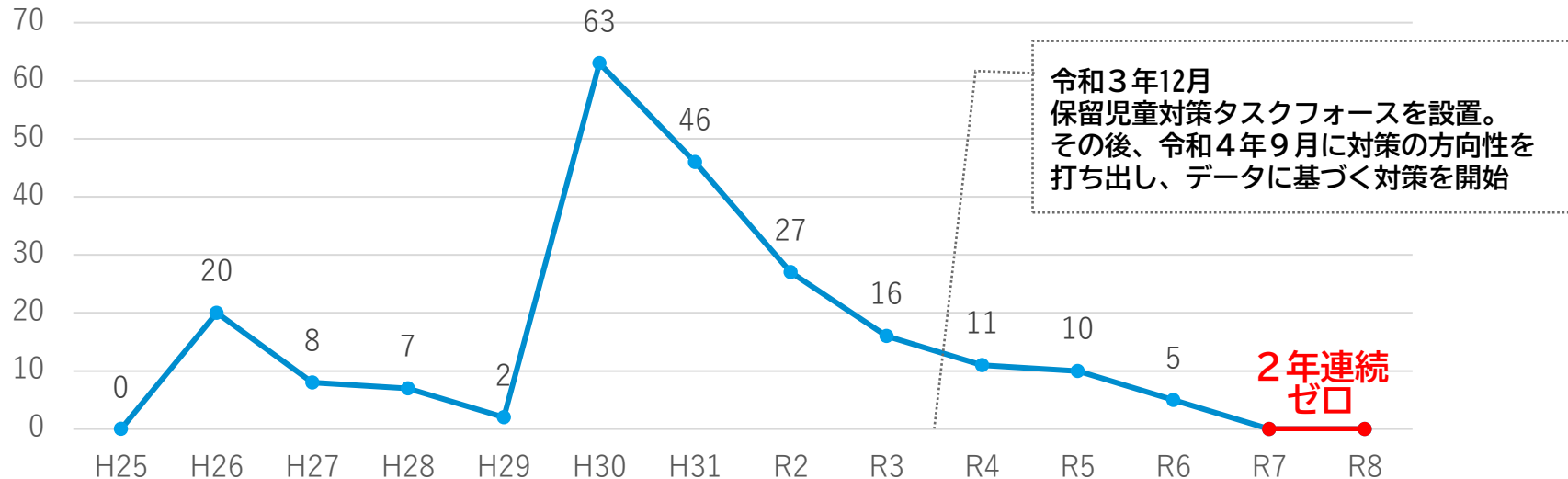


横浜市

# I 本市初の2年連続待機児童ゼロ！

- 令和8年4月1日現在、待機児童ゼロを達成
- 横浜市では初の2年連続待機児童ゼロ

平成25年以降の待機児童数の推移

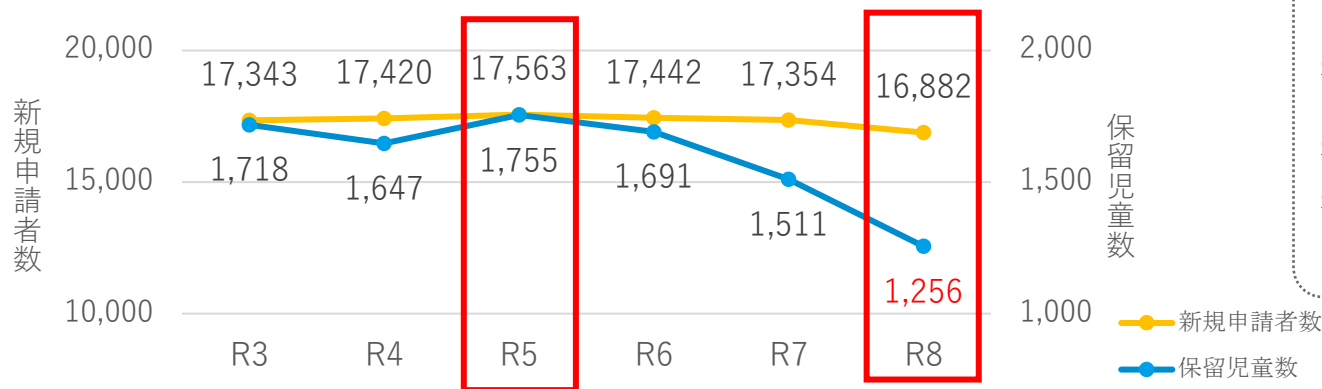


# II 保留児童 (育児休業延長希望の方を除く) の状況

- ・ **保留児童は過去最少の1,256人** (前年度比255人減)
- ・ 令和4年度に打ち出した4つの対策の方向性に基づき取組を進めた結果、令和5年度から令和8年度までの3か年で**保留児童は約3割の減**

【参考】 4つの対策の方向性及び主な取組

令和3年以降の新規申請者数と保留児童数の推移



- ① 1・2歳児の受入枠の確保
  - ・ 既存施設での定員拡大
  - ・ 小規模保育事業への送迎支援
- ② 一時保育等の拡充
  - ・ 一時預かりの受入枠拡大
  - ・ 幼稚園等における長時間預かり
- ③ 障害児・医療的ケア児の対応
  - ・ 障害児・医療的ケア児の受入れ推進
- ④ 選択肢を増やすための情報発信及び保育の質の向上
  - ・ 保育・教育の質の確保・向上
  - ・ 園選びサイトの充実

【参考】 保留児童数の増減等

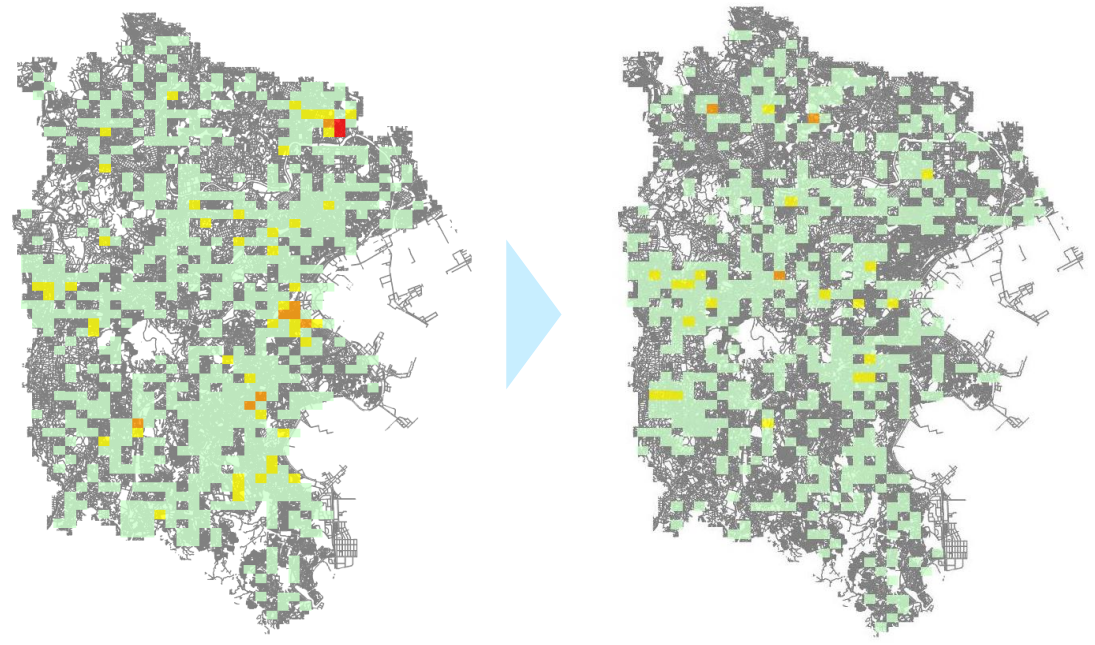
|                      | R3     | R4    | R5    | R6    | R7     | R8     |
|----------------------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 保留児童数(前年度比)          | ▲844人  | ▲71人  | 108人  | ▲64人  | ▲180人  | ▲255人  |
| 保留児童増減率(前年度比)        | ▲32.9% | ▲4.1% | 6.6%  | ▲3.6% | ▲10.6% | ▲16.9% |
| 保留割合<br>(保留児童／新規申請者) | 9.9%   | 9.5%  | 10.0% | 9.7%  | 8.7%   | 7.4%   |

# II 保留児童 (育児休業延長希望の方を除く) の状況 (1.2歳児)

・ 4つの対策の方向性に基づく取組により、保留児童は着実に減少

【R5.4の保留児童分布】 (N=1,304)

【R8.4の保留児童分布】 (N=894)



保留児童の居住分布の推移

| 凡例 | 保留児童 (人) | R5 (エリア数) | R8 (エリア数) | 差引 (エリア数) |
|----|----------|-----------|-----------|-----------|
| ■  | 1～3      | 644       | 533       | ▲111      |
| ■  | 4～6      | 46        | 20        | ▲26       |
| ■  | 7～9      | 8         | 3         | ▲5        |
| ■  | 10～      | 2         | 0         | ▲2        |

※ 1つのエリアは500m四方

## 1 効果的な施設整備の実施

保育ニーズの増大が見込まれる地域を分析し、整備エリアを決定



前年度比で申請者数が増加した6区（合計154名増）のうち、4区(※)が整備エリアに該当 (※)残りの2区についても、既存施設の定員増等を実施



需要の高まりを適切に捉えた整備により、  
保留児童数は59人の減（6区合計）

## 2 医療的ケア児の受入推進

医療的ケア児は、設備や人員配置等の事情から受け入れられる施設が限られており、待機児童になりやすい傾向にある。



- ・ 医療的ケア児サポート保育園の認定
- ・ 年度限定保育事業(※)で医療的ケア児を受け入れられるよう制度改正



- サポート保育園数：34園（前年度比7園増）
- 総利用児童数（速報値）：95人（前年度比13人増）

※保育所等の空きスペースを活用して、1・2歳児を単年度限定で預かる事業

データに基づき、様々な視点から限られた受入枠を最大限活用する取組を実施

## パマトコの利用による分かりやすい情報発信と手続き改善

- 各種申請のオンライン化による  
利便性向上
- プッシュ通知による  
情報発信

- 適切な利用申請や辞退の早期把握に  
よる受入枠の最大活用

**待機児童ゼロの継続**  
**保留児童の着実な減少**

- データに基づく  
的確な整備計画

- 送迎支援による  
小規模保育事業の有効活用

データに基づく有効な施設整備、施設整備によらないニーズへの対応